

「履き物をそろえると心もそろ、心がそろと履き物もそろ」そんな言葉があります。きれいに整とんされた場所で過ごすことは気持ちがいいものです。身の回りをきれいにし、ごみが落ちていたら自分から拾えるとすてきですね。

<朝会で話した主な内容> テーマ：「身の回りをきれいにしよう」

九小には、皆さんやお家の人をはじめ、よその学校の先生やお客様がたくさん来られます。どの方も、明るくきれいな学校ですねと言ってくださいませ。さて、きれいな九小をもっときれいにする方法はないでしょうか。

校長先生からのお願いは、3つあります。1つは、玄関の使い方です。校長先生も子供のころ、外から帰ったら靴をそろえるように言われました。つま先とかかとをきちんとそろえて靴箱に入れると、遊びで興奮した気持ちやあわてている気持ちが落ち着きます。校舎に入ったら、外と内で気持ちを切り替えて、心もそろえてほしいと思います。

2つは、そうじの仕方です。皆さんは、ほうきやちりとり、ぞうきんなどそうじ用具を丁寧に扱って、手を抜かずに、仕事をしていますか。ロッカーや机が整とんされ、ごみ一つ落ちていない教室や階段、廊下であれば、みんなが気持ちよく生活することができます。逆に、ごみやほこりがそのままになっていけば、そこで過ごす人の気持ちもざわついているでしょう。心を込めて、黙ってそうじをすること、やり残しを見逃さないこと、全体を見渡して足りないところはそのままにせず、手伝うことです。

3つは、トイレや流しの使い方です。トイレは、白い流しですから、汚れがつかないように使った人がきれいに後始末をしたいものです。ほかの人のことを考えて、きれいに使うこと、トイレットペーパーや水、電気のむだづかいをしないことです。一人一人が気を付けると、学校はもっときれいになりますよ。毎日そうじをする中で、自分の心も磨いてほしいと思います。

<感想>

- 1 そうじ場所は図工室です。図工室には、ごみがたくさんあって、大変です。他のそうじ場所で廊下だったら、隅々までほうきやぞうきんでごみやほこりをとれたらいいと思います。
- 2 一番心に残ったことは、靴をそろえて外と中で気持ちを切り替えるということです。上と下でちゃんと分けていたものの、雑に入れてしまい、そろえていませんでした。これからは、ちゃんと靴のつま先、かかとをそろえて入れるように気を付けます。
- 3 改めて、そうじの大切さや身の回りの環境は心につながるということを知りました。これからも、手を抜かずにごみが一つも残らないようにそうじをしたいです。
- 4 そうじは隅々までやって、ほかのそうじの手伝いとかをしたらもっときれいになると思います。教室のほうきで角や先生の机の下をやりたいです。そうじ場所は黒板です。もっとチョークの粉や書き残しを消したい。
- 5 しっかりこれから整理整頓をしていきたいと思います。やり残しやごみが落ちていることもないようにします。その前に、ちゃんと毎日きれいにしたいと思います。
- 6 そうじをすると人の心を落ち着かせることが心に残りました。毎日しっかり靴をそろえることができるようになりたいです。
- 7 遊んできたならテンションが上がり興奮してしまうので、靴をそろえたいと思いました。机運びなので、ぴったり線にそろえたり、机を上げて運んだりするところを頑張りたいです。
- 8 靴箱やトイレの使い方を改めようと思いました。これからは、もっといろいろなところをきれいに使おうと思います。
- 9 そうじは正直言って嫌いだけど、そうじをしたら気持ちいいと知っているし、環境のためにもなるので、そうじをちゃんとしたいと思います。
- 10 いつもほうきで教室をそうじしているけど、プールバックがかかっている下は特にほこりが多いから、ほかの場所も丁寧にやりながらきれいにしたいと思った。
- 11 一番心に残ったのは、「普段から学校をきれいに使おう」ということです。これから、そうじは念を入れてやろうと思いました。